

1999年度 第1回情報化委員会議事録

1. 実施日時・場所

1999年6月30日(水) 13時～17時(16時～ 相互協力委員会との合同会議)
椋山女学園大学 学生会館3階 中会議室3

2. 出席者

議長 中京大学(小島 英治)
記録 愛知大学 (三浦 文博)、愛知工業大学(津田 朋美)

愛知医科大学(田中 昭夫)、金城学院大学(鈴木 卓美)、
椋山女学園大学(川路 峰雄)、中京大学(小島 英治)、
豊橋創造大学(川上 雅子)、名古屋商科大学(下口 ウェイン 正則)、
南山大学(三浦 基)、日本福祉大学(石川 宗臣)

3. 議題

- 3.1 委員会役割分担・委員会開催日程
- 3.2 総会について
- 3.3 1999年度事業化計画及び予算
- 3.4 情報化委員名簿確認・文書送付について
- 3.5 「文字コードアンケート集計結果」の公表について
- 3.6 研究活動の取り扱いについて

4. 議事内容

4.1 委員会役割分担・委員会開催日程

4.1.1 委員会役割分担について

今期委員会の役割分担は下記の通りとなった。

会計: 三浦 基(南山大学)

書記: 津田 朋美(愛知工業大学), 三浦 文博(愛知大学)

4.1.2 委員会開催日程

委員会の開催は機械化委員会と同様年6回とし、今年度は以下の通りの予定となった。また、開催時刻は基本的に13:00とすることが確認された。

第1回【情報化委員会】(*1): 6月30日(水) 椋山女学園大学

第2回【情報化委員会】: 9月24日(金) 豊橋創造大学

第3回【情報化委員会】: 10月13日(水) 金城大学

第4回【情報化委員会】: 11月10日(水) 愛知大学豊橋

第5回【情報交換会】(*2): 12月3日(金) 又は10日(金) 淑徳大学(または 愛知医科大学)

第6回【情報化委員会】(*1,3): 2月24日(水) 愛知医科大学

*1 第1回及び第6回は相互協力委員会との合同会議を開催

*2 情報交換会は淑徳大学に会場の提供を依頼する。また、第2候補として愛知医科大学とする。開催日は会場校の都合に合わせてのこととする。

*3 情報交換会が愛知医科大学にて開催された場合、第6回開催場所は中京大学豊田とする

4.2 総会について

総会にて行われた規定改正(名称変更及び選出方法変更)について報告があった。また、名称の変更に伴い、公印(“東海地区情報化委員会之印”)を新規作成することが承認された。なお、委員会の名称変更にもなる情報交換会やアンケートなどの名称は委員会内で検討することとなった。

4.3 1999年度事業化計画及び予算

4.3.1 1999年度事業化計画

「1999年 機械化アンケート実施」、「1999年 情報交換会開催」、「2000年 見学会」、「Home Page メンテナンス」の4点が1998年度申し送り事項として報告され、今期も継続していくことが承認された。

4.3.2 予算について

今年度予算は交付金 12 万円であるとの報告があった。予算の内訳について以下の通り提案され、承認された。

会議費:6 万円
通信費:4 万円
事務費:2 万円
合計:12 万円

4.4 情報化委員名簿確認・文書送付について

4.4.1 情報化委員名簿確認

3 名の新委員に対し、鈴木委員より情報化委員会の経緯説明がなされた。また、各委員の名簿についての確認、訂正がなされた。

(→ 別紙「1999 年度情報化委員会委員名簿」参照)

4.4.2 文書送付について

今期より、全ての委員が E-Mail を使用可能な環境であることが確認されたため、文書の配布・確認については E-Mail を主に利用することが確認された。また、議事録については内容確定までの期間短縮のため、以下の手順にて行うことが了承された。

- I. 書記が議事録を作成し各委員に E-Mail にて送付 (プレーンテキスト)
- II. 各委員は議事録を確認し、問題点・修正点などを委員長に E-Mail にて送付 (プレーンテキスト)
- III. 委員長は各委員より出された問題点・修正点などをまとめ、議事録を修正し、確定する。(PDF)
- IV. 委員長は確定された議事録を公開する。(PDF)

なお、問題点・修正点などが各委員間で食い違う場合などは委員長より別途連絡し、各委員間で協議するものとする。

また、会議開催に先立ち、議案内容を提案する場合は、事前に委員長に連絡することとなった。

4.5 「文字コードアンケート集計結果」の公表について

文字コードアンケート集計結果の取り扱いについて、昨年度よりの経過が報告され、今後の取り扱いについて協議がなされ、「文字コードアンケート集計結果」の公表については以下の通りの扱いとなった。

- ・実際に研究活動をしたグループのメンバーに、「文字コードアンケート集計結果」の公表に関する判断、取り扱い等を任せる。
- ・公表の際には、アンケートについては機械化情報交換会でアンケートを配布し、各大学図書館からは了承を得ていることを明確にする。
- ・公表前には三浦(愛大)委員より、「文字コードアンケート集計結果」の内容を各委員に配布する

4.6 研究活動の取り扱いについて

1998 年度機械化委員会にて実施されてきた 4 つの研究活動の今年度での取り扱いについて協議がなされ、各員から「従来通りの取り扱いはできない。」「続けられるものは続けるべき」、「発表の形式を考慮しなくてはならない」、「テーマが多すぎるので2つくらいに絞ってはどうか」などの意見が出された。その後、各担当者より、今後の研究テーマの扱いについて意見が出され、今期の研究活動内容は以下の通りとなった。

・「文字コードの現在」

今期も継続して活動する。ただし、内容については再度検討する。

・「電子的なドキュメント・デリバリーについて」「電子図書館の現状と著作権の動向」

それぞれの研究活動は終了とし、今後メディアコンバートについての研究として、「著作権のクリア方法」、「データ取込」、「保存形式」、「表示方法」などのケースワークとして、館灯の電子化を実施する。

・「Web の図書館業務への適用について」

活動を終了し、今後は最新技術 (XML, Java など) や運営管理技術などをテストするための作成時例として、東海地区協議会ホームページのリニューアル作業を実施する。

なお、各研究活動のタイトルや内容詳細については次回までに各グループ内で検討することとなった。また、各研究グループの人員配置は以下の通り

「文字コード」: 小島(中京大)、川上(創造大)、三浦(愛大)

「メディアコンバート」: 鈴木(金城大)、下口(名商大)、津田(愛工大)

「Home Page」: 川路(椙山大)、田中(愛知医大)、三浦(南山大)、石川(日福大)

ただし、今回欠席の堀江委員(岐阜経済大)は「文字コード」または「メディアコンバート」のどちらかに参加してもらうこととなった。

情報化委員会・相互協力委員会合同委員会報告（16:00-）

1. 情報化委員会報告事項

情報化委員会からは上記の各事項について報告された。

2. 相互協力委員会活動報告事項

相互協力委員会より、以下の事項について報告された。

- ・今年度予算について
- ・開催日程について
- ・活動計画について
 - 紀要・学内学会誌分担保存メンテナンス
 - 東海地区協議会 相互協力委員会 Home Page メンテナンス
 - 地区レベルのメーリングリストの立ち上げ
 - コンソーシアムに関する調査や研修活動
 - 1999年 相互協力情報交換会開催
 - 2000年 実務担当者研修会開催

3. 合同協議事項

3.1 東海地区協議会 Home Page について

相互協力委員会の Home Page 更新にあたり、情報化委員会 HomePage 部会との連携が行えるよう情報化委員側は三浦委員(南山大)、相互協力委員側 紅露委員(南山大)が窓口として活動していくことが確認された。また、技術的サポートを情報化委員会が行うこととなった。

3.2 図書館パフォーマンス指標について

相互協力委員会・情報化委員会とも、各委員会での取り扱いができないとの判断がなされ、常任幹事会への差戻しを行うこととなった。

3.3 合同委員会開催日程について

今年度は年2回合同委員会を開催することとなった。第1回合同委員会は今回、第2回合同委員会は2000年2月25日(金)日本福祉大学にて行う予定となった。

4. その他

金城学園大学 鈴木委員より、今年度研究会で作成しているリンクリストの次年度以降のメンテナンスを、情報化・相互協力両委員会でサポートして欲しいとの依頼があり、今後検討していくということで了承された。

以上